

CL-3-ii-02	薬物治療Ⅲ	第3学年	前期 必修	1.5単位
担当者	亀井 淳三・千葉 義彦			
一般目標 (GIO)	患者情報に応じた薬の選択、用法・用量の設定ならびに医薬品情報・安全性や治療ガイドラインを考慮した適正な薬物治療に参画できるようになるために、循環器系・呼吸器系・生殖器系に作用する医薬品の薬理および疾患の病態・薬物治療に関する基本的知識を修得し、治療に必要な情報収集・解析および医薬品の適正使用に関する基本的事項を修得する。			
到達目標 (SBOs)	<p>【循環器系疾患の薬、病態、治療】</p> <ol style="list-style-type: none"> 以下の不整脈および関連疾患について、治療薬の薬理（薬理作用、機序、主な副作用）、および病態（病態生理、症状等）・薬物治療（医薬品の選択等）を説明できる。不整脈の例示：上室性期外収縮（PAC）、心室性期外収縮（PVC）、心房細動（Af）、発作性上室頻拍（PSVT）、WPW症候群、心室頻拍（VT）、心室細動（Vf）、房室ブロック、QT延長症候群 急性および慢性心不全について、治療薬の薬理（薬理作用、機序、主な副作用）、および病態（病態生理、症状等）・薬物治療（医薬品の選択等）を説明できる。 虚血性心疾患（狭心症、心筋梗塞）について、治療薬の薬理（薬理作用、機序、主な副作用）、および病態（病態生理、症状等）・薬物治療（医薬品の選択等）を説明できる。 以下の高血圧症について、治療薬の薬理（薬理作用、機序、主な副作用）、および病態（病態生理、症状等）・薬物治療（医薬品の選択等）を説明できる。本態性高血圧症、二次性高血圧症（腎性高血圧症、腎血管性高血圧症を含む） 以下の疾患について概説できる。閉塞性動脈硬化症（ASO）、心原性ショック、弁膜症、先天性心疾患 <p>【呼吸器系疾患の薬、病態、治療】</p> <ol style="list-style-type: none"> 気管支喘息について、治療薬の薬理（薬理作用、機序、主な副作用）、および病態（病態生理、症状等）・薬物治療（医薬品の選択等）を説明できる。 慢性閉塞性肺疾患および喫煙に関連する疾患（ニコチン依存症を含む）について、治療薬の薬理（薬理作用、機序、主な副作用）、および病態（病態生理、症状等）・薬物治療（医薬品の選択等）を説明できる。 間質性肺炎について、治療薬の薬理（薬理作用、機序、主な副作用）、および病態（病態生理、症状等）・薬物治療（医薬品の選択等）を説明できる。 鎮咳薬、去痰薬、呼吸興奮薬の薬理（薬理作用、機序、主な副作用）および臨床適用を説明できる。 <p>【生殖器系疾患の薬、病態、薬物治療】</p> <ol style="list-style-type: none"> 以下の生殖器系疾患について、治療薬の薬理（薬理作用、機序、主な副作用）、および病態（病態生理、症状等）・薬物治療（医薬品の選択等）を説明できる。前立腺肥大症、子宮内膜症、子宮筋腫 妊娠・分娩・避妊に関連して用いられる薬物について、薬理（薬理作用、機序、主な副作用）、および薬物治療（医薬品の選択等）を説明できる。 以下の生殖器系疾患について説明できる。異常妊娠、異常分娩、不妊症 			
受講心得・準備学習等	薬物による疾病治療の必要性・合理性を理解することが目標となるため、各疾患に関わる機能形態学および治療に用いられる薬物の薬理作用を十分学習しておくこと。各回の内容について、講義前に1時間/回程度の予習をしておくことが望ましい。			
事後学習・復習等	講義内容をもとに独自のまとめノートを作成して、各講義時間ごとの要点をまとめることが望ましい。各回の内容について、1時間/回程度の復習をしておくことが望ましい。			
オフィスアワー	講義日の12:15～13:15とする。これ以外の時間帯でも、在室中は随時対応可能。			

授業の形式と各回の内容

授業の形式		講義形式で行う。		
回	項目	内容	担当者	
1	循環器系疾患の薬、病態、治療①	不整脈および関連疾患の病態、治療薬の薬理	千葉	
2	循環器系疾患の薬、病態、治療②	不整脈および関連疾患の薬物治療	千葉	
3	循環器系疾患の薬、病態、治療③	心不全の病態、治療薬の薬理、薬物治療	千葉	
4	循環器系疾患の薬、病態、治療④	虚血性心疾患の病態、治療薬の薬理	千葉	
5	循環器系疾患の薬、病態、治療⑤	虚血性心疾患の薬物治療	千葉	

6	循環器系疾患の薬、病態、治療⑥	高血圧症の病態、治療薬の薬理	千葉
7	循環器系疾患の薬、病態、治療⑦	高血圧症の薬物治療	千葉
8	循環器系疾患の薬、病態、治療⑧	その他循環器系疾患の病態、薬物治療	千葉
9	呼吸器系疾患の薬、病態、治療①	気管支喘息の病態、治療薬の薬理、薬物治療	亀井
10	呼吸器系疾患の薬、病態、治療②	慢性閉塞性肺疾患および喫煙に関連する疾患（ニコチン依存症を含む）の病態、治療薬の薬理、薬物治療	亀井
11	呼吸器系疾患の薬、病態、治療③	間質性肺炎の病態、治療薬の薬理、薬物治療	亀井
12	呼吸器系疾患の薬、病態、治療④	鎮咳薬、去痰薬、呼吸興奮薬の薬理および臨床適用	亀井
13	生殖器系疾患の薬、病態、薬物治療①	前立腺肥大症、子宮内膜症、子宮筋腫の病態、治療薬の薬理、薬物治療	千葉
14	生殖器系疾患の薬、病態、薬物治療②	妊娠・分娩・避妊に関連して用いられる薬物の薬理および臨床適用。異常妊娠、異常分娩、不妊症の病態、治療薬の薬理、薬物治療	千葉

成績評価の方法	定期試験（本試験および追再試験）の成績に受講態度を加味して評価する。
成績評価の基準	定期試験（本試験および追再試験）の成績が60%以上を合格とする。受講態度によって10%以内の範囲で得点を付加することがある。
教科書	亀井淳三・齋藤英胤編「Principal Pharmacotherapy」(ネオメディカル) 成田年監修「疾患薬理学」(ネオメディカル) 浦部 晶夫・島田 和幸・川合 眞一編「今日の治療薬 2017」(南江堂)
参考書など	